

一般質問



ひきこもり支援・熱中症対策の  
新たな取組み



湖南省公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

**問** ひきこもり支援について

**答** 国の補助事業を活用し、今年度から「ひきこもり支援ステーション事業」を開始しました。昨年度から実態把握を行うために、支援対象者の人数やニーズを精査し、支援を行う体制・方向性を検討するために高齢・介護・障がい・子ども・生活困窮の分野にわたる5課1室で基礎情報をまとめました。その情報を基に、県下で先駆的に取り組まれてきた法人に事業委託をし、各課と連携しながら、相談支援・居場所づくり・ネットワーキングを一体的に実施しています。あわせてひきこもり状態にある方にSNS等を活用した周知、広報、支援情報の提供を積極的に実施する必要があると考えます。

**問** 来年度開校する夜間中学も社会参加きっかけのひとつになるのでは。

**答** 学び直しのできる夜間中学も選択肢のひとつとして取り入れていきます。

**問** 熱中症対策について進展したことは。

**答** 特に注意が必要な高齢者の方々に、介護保険料の決定通知案内に啓発メッセージを掲載、民生児童委員や介護保険事業者の研修時など機会を捉えポスターやリーフレットを配布し一人ひとりに声かけできるよう依頼しました。クーリングシエルター（熱中症特別警戒アラート発令時に避難できる施設）について、19の施設を指定し、別の13施設は空いている部屋があれば対応するとし、HPに掲載しました。



庁舎整備 市長の思いは



会派 きずな ● 森 すなお 議員

**問** 4年前の市長選挙で生田市長の公約の「丁目一番地が「庁舎の再検討」でした。そのために実施した耐震診断結果が1s値0.22であり、それを受けて、増築や新築など4案を含む「庁舎整備基本計画（素案）」が示されました。

**市長の思いは、その4案の内のどれですか。**

**答** 庁舎の使い勝手や内水氾濫・外水氾濫の問題、1s値や財源の問題があり、環境も変化する中で、スケジュール通り進めます。

**中学校生徒会サミット**

**問** 「湖南省中学校生徒会サミット2024」と銘打った議会報告会を、中学生を対象に本会議場で開催しましたが、その成果と課題は。

**答** 議員との意見交換で、まちづくり参画の意識が醸成される有意

義な機会でした。今後も生徒たちが主権者意識を持ってまちづくりに参画できるかが課題です。

**問** 学校に関する意見の取扱いや学校教育への反映などは。

**答** 主権者教育の貴重な体験機会、学習として継続していきます。

**オートコールの導入**

**問** 情報弱者に寄り添った、有効な災害情報の伝達手段の検討は。

**答** 有効的な情報伝達ツールがあれば、導入を積極的に検討します。

**問** 災害時に住民の電話番号に避難情報等を一斉発信する「オートコール」とAI（人工知能）を組み合わせ、避難状況を把握するシステムがあるので早急な導入を提案します。

**答** 運用や費用対効果について、早急に調査研究に取り組みます。